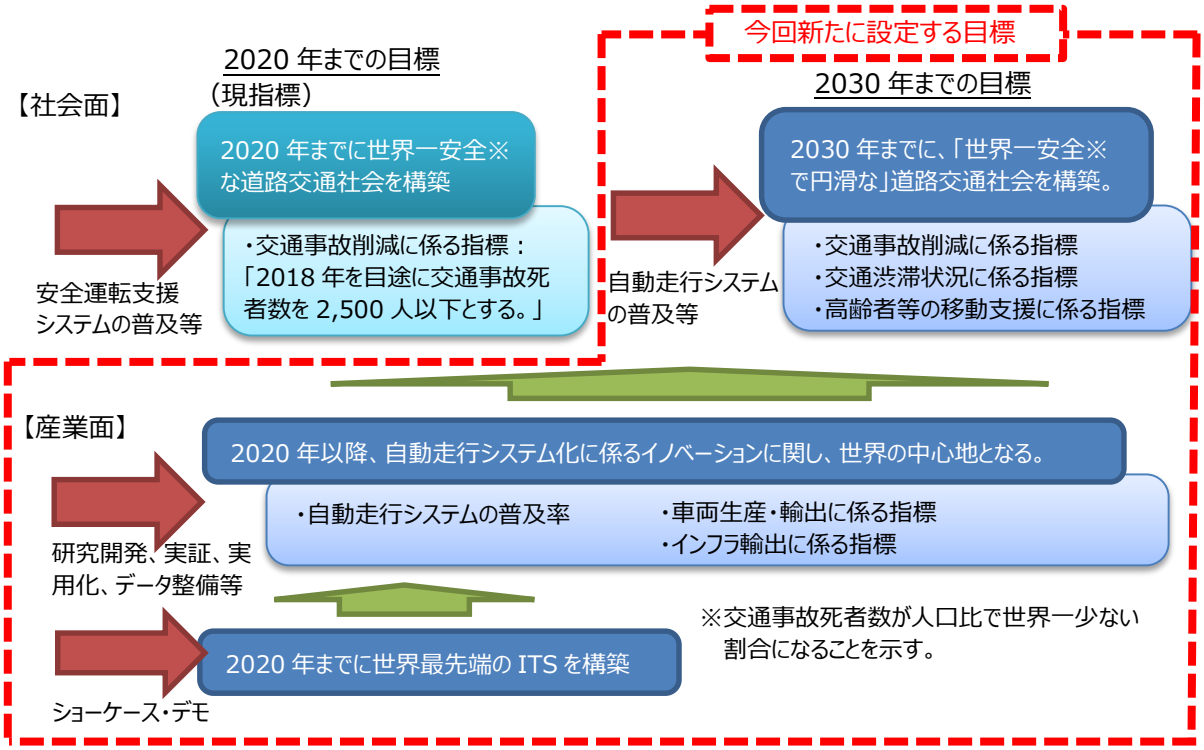
な指標としては、

・　「自動走行システムの普及」
・　「車両生産・輸出」[18]
・　「インフラ輸出」

の３つの観点を踏まえて、それぞれに関係する指標を設定し、今後、これらの指標を踏まえて各種施策に取り組む。

　それぞれの具体的な指標及び目標とする数値の設定については、まずは算定に必要な統計データ等について産業界等と議論するとともに、SIP「自動走行システム」において自動走行システムに係る交通事故低減効果等の推計手法に関する調査を実施し、その結果を踏まえて検討することとするが、その際、具体的な目標とする数値については、「世界一」を確保・維持するとの観点から現状の各国の数値をベンチマークとして、目標値を設定する一方で、不断に各国の数値と比較し、必要に応じて見直しを行うという方針で進める。

【図３】本構想で目標とする社会と重要目標達成指標



[18] 「車両生産・輸出に係る指標」については、当面車両台数で計測することを基本とするものの、将来的には、カーシェア等の周辺ビジネスが重要となる可能性があることについても考慮する。